

# 公益財団法人平野政吉美術財団

## 平成 26 年度事業報告

### <総括>

平成 26 年度の事業については、当財団の目的に沿い、平野政吉コレクション、および藤田嗣治作品の展示公開、教育普及活動、および調査研究を行った。

秋田県立美術館の施設管理については、指定管理者として適切に行った。

- 展示公開事業については、常設展の他、企画展を 3 回、特別展を 2 回、開催した。  
特別展「藤田嗣治 どうぶつものがたり～猫と裸婦と画家～」は、藤田嗣治が描いた動物モチーフに焦点を当てた展覧会で、東京国立近代美術館や京都国立近代美術館等から作品を借用し、個人蔵の資料や当財団所蔵作品とあわせて展示した。藤田の代表作や、国内に数点しかない『詩数編』（個人蔵）などの展観が好評であった。同展については、図録を発行した。  
秋田県立近代美術館との連携事業である特別展「郷土・秋田を想う」は、1930 年代の美術と文学を連動させた展示内容で、藤田、福田豊四郎、勝平得之の作品、あわせて秋田県民歌の歌詞を展観した。特に県民に好評であった。  
企画展「藤田嗣治と土門拳の交差」は、土門拳記念館から土門撮影写真を借用し、藤田と土門の同時代性に焦点を当てた展示を行った。斬新な企画として、NHK 教育テレビ「日曜美術館」アートシーンに取り上げられた。
- 教育普及事業としては、企画展・特別展に関連した講演会を 3 回実施した。講師は、藤田の研究者、写真史研究者、日本近代文学研究者に依頼した。とくに特別展「郷土・秋田を想う」に関連した北条常久氏の講演会は参加者が多く、2 回に分けて開催した。美術館教室は、館外活動 2 回、ワークショップ 1 回の計 3 回、実施した。《秋田の行事》ゆかりの場所を巡る教室は、秋田魁新報に掲載された。ギャラリートークについては、企画展・特別展を学芸員が担当し、それぞれの展覧会会期中、2 回もしくは 3 回実施した。《秋田の行事》について解説する定例ギャラリートークは解説員が担当し、月 1 回および竿燈期間に実施した。
- 調査研究活動としては、特別展「藤田嗣治 どうぶつものがたり～猫と裸婦と画家～」の図録を発行し、藤田作品についての研究成果を論文および作品解説として発表した。また、新聞、雑誌への寄稿、および講演会において、学芸員が調査研究成果を発表した。
- パイロット事業として、博物館実習を 7 月に実施した。大学 4 年生を 2 名受け入れ、6 日間実習を行った。
- 美術ホール運営事業としては、秋田県主催事業への対応が多かった。10 月に秋田県で行われた国民文化祭にともなって「国民文化祭あきた美術展（洋画部門）」が、美術ホールで開催された。同展ご視察のため、皇太子殿下が秋田県立美術館へ行啓され、《秋田の行事》をはじめとする平野政吉コレクションおよび特別展「藤田嗣治 どうぶつものがたり～猫と裸婦と画家～」もご観覧になった。
- 売店事業は、来館者へのサービスの一貫として、鑑賞をより豊かなものにするため、業者への委託販売とインターネットでの販売を展開した。

## I 展示公開事業

### (1) 常設展示事業

#### 常設展 平野政吉コレクションⅠ

- 1 会 期 平成26年4月1日(火)～平成26年7月6日(日)
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 内 容 平野政吉コレクションから、中南米旅行から日本滞在期に描いた作品を中心に展示した。
- 4 入場者数 16,809人

#### 常設展 平野政吉コレクションⅡ

- 1 会 期 平成26年7月11日(金)～平成26年9月16日(火)
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 内 容 平野政吉コレクションから、藤田嗣治が描いた乳白色の裸婦像と藤田の素描などを展示した。
- 4 入場者数 17,009人

#### 常設展 平野政吉コレクションⅢ

- 1 会 期 平成26年9月20日(土)～平成26年11月4日(火)
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 内 容 平野政吉コレクションから、藤田嗣治が日本で営んだアトリエを描いた作品などを紹介した。
- 4 入場者数 12,796人

#### 常設展 平野政吉コレクションⅣ

- 1 会 期 平成26年11月8日(土)～平成27年3月22日(日)
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 内 容 平野政吉コレクションから、中国旅行での取材をもとに制作された油彩画や、中南米に取材した油彩画などを紹介した。
- 4 入場者数 13,479人

### (2) 企画展示事業

#### 企画展 藤田嗣治の素描 ～線の息づかい～

- 1 会 期 平成26年4月1日(火)～平成26年7月6日(日)
- 2 会 場 ギャラリー1・2
- 3 内 容 「直感から生まれた線が的確にして無限に深い」と語った藤田嗣治の素描には、画中の人物が息づいているかのようなリアルさがある。群像、妻・マドレーヌ、メキシコ、中国の人々などを描いた素描約40点を展観した。
- 4 入場者数 16,809人

#### 企画展 藤田嗣治 絵画と言葉

- 1 会 期 平成26年7月11日(金)～平成26年9月16日(火)
- 2 会 場 ギャラリー1・2

3 内 容 藤田嗣治は、『地を泳ぐ』、『腕一本』などの随筆や、新聞・雑誌への寄稿など、多くの文章や言葉を遺している。1930年代の油彩画とともに、作品と関わりのある藤田の言葉を展示した。

4 入場者数 17,009人

#### 企画展 藤田嗣治と土門拳の交差

1 会 期 平成26年11月8日（土）～平成27年1月18日（日）

2 会 場 ギャラリー1・2

3 内 容 1930年代から40年代の土門拳撮影の写真を展覧し、当時の時代状況を踏まえながら、土門と画家・藤田嗣治の邂逅を検証した。同時代の藤田作品も展示し、対象の本質へ肉薄する土門と、対象の核心を追求する藤田の、芸術家としての共振を紹介した。

4 入場者数 7,858人

### (3) 特別展示事業

#### 特別展 藤田嗣治 どうぶつものがたり～猫と裸婦と画家～

1 会 期 平成26年9月20日（土）～平成26年11月4日（火）

2 会 場 ギャラリー1・2

3 内 容 展覧会では、1919年の挿画本から1960年頃の聖書を主題にした版画まで、動物が登場する藤田嗣治作品を展覧、作品の中の動物たちに着目しながら、その画業を辿った。藤田が初めて挿絵を寄せた『詩数篇』や、乳白色の下地と繊細な線描を駆使し、愛らしく生き生きと描かれた猫が登場する1920年代の裸婦像や自画像、動物が藤田を巡る状況を暗喩した作品、また、さまざまな動物の生命力や躍動感を描き出した作品などを、ほぼ年代順に展示した。来館者たちは、優れた描写力と観察力によって描かれた動物たちのしぐさや表情を楽しみながら、藤田が動物たちに込めた想いに心を寄せていた。

4 入場者数 12,796人

#### 特別展 郷土・秋田を想う

1 会 期 平成27年1月22日（土）～平成27年3月22日（日）

2 会 場 ギャラリー1・2

3 内 容 東京出身でヨーロッパを体験し、その後、秋田に深く関わった藤田嗣治。秋田県小坂町に生まれ、東京で活躍した福田豊四郎。秋田市を離れずに制作活動を続けた勝平得之。郷土教育運動が展開する1930年代という時代背景を踏まえながら、この3人の画家のまなざしを比較し、それぞれの秋田への想いを読み解いた。また、勝平得之が藤田嗣治との交流によって、秋田の風俗の美しさを再認識したことや、1930年制定の「秋田県民歌」と藤田嗣治制作の壁画《秋田の行事》の主題に共通の要素がみられることを紹介した。展覧会の内容が「郷土・秋田」に関わるものだったため、とくに秋田県民に好評を博した。

4 入場者数 5,621人

※同時開催の展覧会の入場者数は、各々表記した。

## II 教育普及事業

### (1) 講演会

#### 企画展 「藤田嗣治と土門拳の交差」 関連講演会

- 1 講演会名 「演出と個性 土門 VS 藤田」
- 2 実施日 平成26年12月14日(日)
- 3 会場 レクチャールーム
- 4 講師 日本カメラ博物館 運営委員 白山真理氏
- 5 内容 写真史の研究者である白山氏が、土門拳の活躍した時代状況と写真というメディアについて講演。報道写真の変容と、写真における演出の問題について分析した。時代を背負って活躍するふたりの芸術家・藤田と土門の邂逅も紹介した。
- 6 参加者数 36人

#### 特別展「藤田嗣治 どうぶつものがたり～猫と裸婦と画家～」 関連講演会

- 1 講演会名 「藤田嗣治と動物たちの世界」
- 1 実施日 平成26年10月5日(日)
- 2 会場 レクチャールーム
- 3 講師 美術史家 矢内みどり氏
- 4 内容 日本と西洋の動物画を比較しながら、描かれた動物と人間との関係の違いを解説。日本的な文化というルーツを持つ藤田嗣治が、動物にどのような想いを込めて描いたのかを紐解いた。
- 5 参加者数 33人

#### 特別展 「郷土・秋田を想う」 関連講演会

- 1 講演会名 「1930年代の郷土・秋田」
- 2 実施日 平成27年3月8日(日)
- 3 会場 レクチャールーム
- 4 講師 秋田県生涯学習センター シニアコーディネーター 北条常久氏
- 5 内容 日本近代文学研究者の北条常久氏が、1930年代の秋田について、時代状況、文学と美術をトータルに講演した。「秋田県民歌」と郷土教育運動の関わり、壁画《秋田の行事》のモチーフと当時の鉱山災害の関連の可能性にも言及。また、作家・伊藤永之介、画家・勝平得之と福田豊四郎、郷土教育運動を牽引した小田内通敏などの業績を紹介し、参加者の興味を引いた。前評判も高く、参加者が多く、2回に分けて開催した。
- 6 参加者数 73人

### (2) 美術館教室

#### 美術館教室 「《秋田の行事》を歩こうI ～外町・日吉八幡神社・香爐木橋～」

- 1 実施日 平成26年4月26日(土)
- 2 会場 秋田市大町・寺内
- 3 内容 《秋田の行事》をより深く理解するため、壁画に描かれた神社や橋、平野家ゆかりの場所などを訪ねた。高清水霊泉や香爐木橋、草生津川を見学、日吉八幡神社では平野家寄進神社標柱と平野政吉奉納雅楽太鼓を拝見した。その後、平野家米蔵跡地や平野家本邸跡を巡った。

美術館教室 「《秋田の行事》を歩こうⅡ ～太平山三吉神社～」

- 1 実施日 平成26年4月26日(土)
- 2 会場 太平山三吉神社
- 3 内容 《秋田の行事》をより深く理解するため、秋田市広面字赤沼の太平山三吉神社を訪ねた。同神社に参拝、初代平野政吉が奉納した狛犬を拝見した。その後、太平山三吉神社宮司田村泰教氏より太平山や神社、梵天奉納についてのお話を伺った。
- 4 参加者数 14人

特別展「藤田嗣治 どうぶつものがたり」関連ワークショップ

- 1 ワorkshop名 「割ピン人形のどうぶつものがたり」
- 2 実施日 平成26年10月25日(土)
- 3 会場 レクチャールーム
- 4 講師 播摩友紀子氏
- 5 内容 動物や人、想像上の生きものなどを、厚紙と割ピンを用いて人形を作成した。物語を考えながら少しずつ動かし、カメラでコマ撮り撮影。完成した作品をテレビ画面に映し、参加者全員で鑑賞した。
- 6 参加者数 8人

(3) ギャラリートーク

企画展「藤田嗣治の素描～線の息づかい～」関連ギャラリートーク

- 1 実施日 平成26年4月19日(土)・5月22日(土)
- 2 会場 ギャラリー1・2
- 3 参加者数 44人

企画展「藤田嗣治 絵画と言葉」関連ギャラリートーク

- 1 実施日 平成26年7月19日(土)・8月16日(土)
- 2 会場 ギャラリー1・2
- 3 参加者数 39人

企画展「藤田嗣治と土門拳の交差」関連ギャラリートーク

- 1 実施日 平成26年11月15日(土)・12月20日(土)  
平成27年1月17日(土)
- 2 会場 ギャラリー1・2
- 3 参加者数 49人

特別展「藤田嗣治 どうぶつものがたり～猫と裸婦と画家～」関連ギャラリートーク

- 1 実施日 平成26年9月20日(土)・10月18日(土)
- 2 会場 ギャラリー1・2
- 3 参加者数 37人

特別展「郷土・秋田を想う」関連ギャラリートーク

- 1 実施日 平成27年2月21日(土)・3月21日(土)
- 2 会場 ギャラリー1・2
- 3 参加者数 32人

- 1 実施日 毎月第1土曜日・8月3日・4日・5日・6日
- 2 会場 大壁画ギャラリー
- 3 参加者数 179人

### Ⅲ 調査研究事業

- ・藤田嗣治の作品を調査研究し、その成果を『藤田嗣治 どうぶつものがたり～猫と裸婦と画家～』図録に発表した。  
佐々木佳苗 論文「藤田嗣治が描いた動物たち」  
藤田嗣隆他3名 作品解説
- ・秋田魁新報 ギャラリーと～く 平成26年10月1日  
佐々木佳苗 特別展「藤田嗣治 どうぶつものがたり～猫と裸婦と画家～」出品作品解説（藤田嗣治《タピスリーの裸婦》京都国立近代美術館蔵、藤田嗣治《自画像》東京国立近代美術館蔵）
- ・秋田魁新報 ギャラリーと～く 平成26年10月8日  
佐々木佳苗 特別展「藤田嗣治 どうぶつものがたり～猫と裸婦と画家～」出品作品解説（藤田嗣治《眠れる女》公益財団法人平野政吉美術財団蔵、藤田嗣治《私の夢》新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵）
- ・秋田魁新報 ギャラリーと～く 平成26年12月17日  
原田久美子 企画展「藤田嗣治と土門拳の交差」出品作品解説（土門拳撮影《藤田嗣治 額縁を作る》土門拳記念館蔵、土門拳撮影《室生寺弥勒堂釈迦如来坐像右半面相》土門拳記念館蔵）
- ・秋田魁新報 ギャラリーと～く 平成27年2月18日  
原田久美子 特別展「郷土・秋田を想う」出品作品解説（藤田嗣治《雪國の少女》秋田県立近代美術館蔵、勝平得之《映画「土に生きる」タイトル画》秋田県立近代美術館蔵）
- ・河北新報 平成27年3月5日  
原田久美子 特別展「郷土・秋田を想う」紹介記事
- ・『なごみ』平成26年7月号、淡交社  
原田久美子 「平野政吉と藤田嗣治～なぜ秋田に大壁画が生まれたのか～」
- ・講演会 東京慈恵医科大学同窓会東北地区秋田大会 平成26年8月2日  
原田久美子 「藤田嗣治 秋田の壁画と美術館」
- ・講演会 秋田寿大学 平成27年2月10日  
原田久美子 「藤田嗣治 秋田の壁画と美術館」
- ・みるかネット連携講座 平成27年3月22日  
原田久美子 「《秋田の行事》に描かれた秋田
- ・みるかネットギャラリートークリレーセッション 平成26年5月10日  
原田久美子 企画展「藤田嗣治の素描～線の息づかい～」解説  
1. 常設展「平野政吉コレクション展Ⅰ」解説

## IV 美術ホール運営事業（貸しホール事業）

### 1. 事業内容

- ①県主催事業等の使用に対し、展示構成を確認、展示作業監視を行った。
- ②美術ホールと展示室の一体的な利用を促進した。
  - ・児童・生徒のセカンドスクールや職場体験の一環として、美術ホールの展覧会と展示室の藤田嗣治作品の連携鑑賞を行った。

### 2. 実績

総入場者数 69,026人

- ・角川大映映画展 4月19日（土）～6月15日（日）  
入場者数：8,784人
- ・草間彌生 永遠の永遠の永遠 7月11日（金）～9月7日（日）  
入場者数：28,363人
- ・第29回 国民文化祭あきた美術展(洋画) 10月4日（土）～10月13日（火）  
入場者数：4,198人
- ・あきたアートプロジェクト  
佐竹本三十六歌仙絵巻模写本展・池田修三展「センチメンタルの青い旗」  
10月18日（土）～10月26日（日）  
入場者数：11,761人
- ・あきたアートプロジェクト あきたの美術 2014  
10月29日（水）～11月3日（月）  
入場者数：2,413人

## V 売店事業

### 1. 事業内容

- ・インターネットでの《秋田の行事》額絵販売。
- ・秋田県立美術館ミュージアムショップ運営業者・光風舎へ委託販売。

### 2. 実績

・売り上げ総計 37品 9,641枚

#### 内訳

《秋田の行事》レプリカ	629枚
《秋田の行事》額絵	124枚
クリアーファイル	1,863枚
絵はがき32種	7,137枚
その他	9枚